

あなたも狙われているかも!?消費者トラブル出没注意!!

高齢者や若年層を狙った悪質商法による消費者トラブルにお気をつけください!

具体的なトラブルや対処法は二次元コードからチェック!

もしもトラブルに出会ったら...



消費者ホットライン

188 (いやや) に相談!

困ったときは、一人で悩まずにご相談ください。県や市町村が設置している身近な消費生活相談窓口を御案内します。

家族や友達にも
教えてね!



講師派遣のご案内(いずれも対面・オンライン可)

金融経済教育に関する講座 (J-FLECによる講師派遣)

J-FLEC(金融経済教育推進機構)では、全国の企業や学校、公民館などに講師を派遣し、金融経済に関する様々なテーマの出張授業を無料で実施しています。

【主な内容例(年齢層別)】

- 小学生
「おこづかいから学ぶお金の話」
 - 大学生・若手社会人
「社会人として知っておきたいお金の話」
 - 中堅社会人
「将来に向けて知っておきたいお金の話」
- 詳しくはJ-FLECのHPをご覧ください。



消費生活に関する講座 (県消費生活センターによる講師派遣)

県消費生活センターでは、消費生活に関する契約の基礎知識や、最近の消費者トラブルの事例及び対処法などを学ぶ研修会等に職員を派遣しています。

【対象】

- 学校、事業所の新人研修、自治会、高齢者クラブ、高齢者・介護関係団体、障害者関係団体、教員の研究会など

詳しくは県のHPをご覧ください。



マイライフがごしま

くらしの情報

2025.1

目次

SNSをきっかけとした副業・投資サポートのトラブルに注意!	1
突然の「訪問」に気をつけて!	2
食品ロスの削減について考えよう!	3
エシカル消費ってなに?	3
あなたも狙われているかも!?消費者トラブル出没注意!!	4
講師派遣のご案内	4

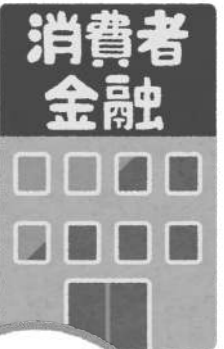
SNSをきっかけとした副業・投資サポートのトラブルに注意!

副業や投資に関心が高まる中、SNSの広告をきっかけとした副業・投資サポートに関する相談が依然として多く寄せられています。幅広い年代の方から相談が寄せられていますが、特に20歳代の方からの相談が増加しています。「借りても利益ですぐ返済できる」とそそのかされ、消費者金融から借金をして支払ったケースも少なくありません。



トラブルにあわないために

- 「簡単にもうかる」「稼げる」などの投稿やメッセージをうのみにしないようにしましょう。
- SNS上で「もうけ話」の勧誘を受けた場合は、**まず疑ってみましょう。**お金を支払ったとたん相手と連絡がとれなくなり、返金を求めることが困難になるケースもあります。
- 借金をしてまで契約すべきものか、よく考え、断る際は「いりません」「やめます」と、きっぱり断りましょう。



突然の「訪問」に気をつけて!

相談事例1

突然、自宅を訪ねてきた業者から、「屋根と壁の塗装をしませんか」と言われた。築40年以上で気になっていたもので、いくらかかるか尋ねると35万円とのことだった。その場で工事をお願いした。後日、再訪問があり、「材料費が20万円必要」とのことだったので、なんとか工面して現金で支払った。ところが、次週から作業を開始する約束だったのに、いっこうに塗装工事が始まらない。業者の電話も通じなくなった。どうしたらよいか。(70歳代女性)



トラブルにあわないために

- 突然訪問してくる業者には慎重に対応し、**決してその場で契約しない**ようにしましょう。
- 工事を依頼したい場合は、**複数の業者から見積り**を取りましょう。
- **高額な費用の前払いは避け**、完成後の支払いを主とした契約にしましょう。

相談事例2

いきなり、若い男性が自宅を訪ねてきて、「不用品はないか。何でも買い取る」と言われた。使っていないテレビがあったので、家に上がって見てもらうと、「これは値がつかない。アクセサリーとか貴金属はないか」と言われた。「そんなものはない」ときっぱりと断ると、結局、何も買い取らずに帰った。最近、物騒な事件のニュースを聞くが、強盗の下見ではなかったかと心配になった。(70歳代女性)



トラブルにあわないために

- 自宅で物品を買い取ってもらう訪問購入では、**購入業者が突然訪問して勧誘**することは禁止されています。**このような禁止行為を行う購入業者を家に入れないように**しましょう。
- 購入業者は、前もって電話等で訪問を約束した場合でも、消費者が事前に承諾した買い取り対象以外の物品について売却を求めることはできません。「貴金属はないか」などと当初とは違う物品の売却を求められたときは、きっぱりと断りましょう。

食品ロスの削減について考えよう!

食品ロスとは…

まだ食べられるのに捨てられている食品のこと。**日本の食品ロスの量は年間推計472万トン**で、1人当たり毎日おにぎり1個(103g)を捨てている計算です。



食品ロスを減らすためには…

買いすぎない

そして

作りすぎない

食べきる

注文しすぎない

ことが大切です!!



余ってしまった食品は…

地域のフードバンク団体・フードドライブ実施主体へ寄付をすることで、ごみとして捨てることなく必要とする人に届けることができ、食品ロス削減につながります。あなたも、できることから始めませんか?



フードバンクとは

外箱の変形や賞味期限が近いなど、食品の品質には問題ないが、通常の販売が困難な食品を、食品メーカー等から引き取り、福祉施設等へ無償で提供する団体・活動のこと。

フードドライブとは

家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のこと。



エシカル消費ってなに?

エシカル消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、**人・社会・地域・環境に配慮した消費行動**のことです。

私たち一人一人が、社会的な課題に気づき、日々のお買物を通して、その課題の解決のために、自分は何ができるのかを考えてみることで、これが、エシカル消費の第一歩です。

消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、世界の未来を変えるために、今から行動しましょう!

人・社会への配慮

- ・障がい者支援につながる商品を選択する
- ・売上金の一部が寄付につながる商品を選択する

地域への配慮

- ・地産地消
- ・被災地で作られたものを購入することで被災地を応援する
- ・伝統工芸品を購入する

環境への配慮

- ・エコ商品を選ぶ
- ・マイバッグ・マイボトルを利用する
- ・食品ロスを減らす